

平成27年度八重山特支学校評価のまとめ(成果、課題、改善策等)

1 考察

- (1)自己評価(内部評価)では、ほぼ全ての項目において、教職員が肯定的な評価をしている。
- (2)特に「教育目標」の評価が高い。学校、学部の教育目標は全員が実態に即した目標であると、捉えている。「教育計画」についても、評価が高く幼児児童生徒の実態に則した教育課程の編制がなされていると評価している。
- (3)重点目標の中で「総合的な学習」「生徒指導」「健康・安全指導」「進路指導」「キャリア教育」「研究研修」「環境美化」「家庭・関係機関との連携」に関しては評価が高い。
- (4)「指導の充実」では「情報機器を活用した指導」について概ね達成されているとの回答だが、一部に「あまり達成できない」との評価がある。
- (5)「健康・安全指導」は自己評価が高い。健康安全面を重視した教育活動の表れだと思われる。各学部での緊急時シミュレーションを実施し、担任、養護教諭、学部職員との連携が図られている結果が出ている。
- (6)今年度から県の指定研究を受けて「キャリア教育」に取り組んでいる。自己評価の中に「キャリア教育」と「研究研修」では肯定的な評価が多く、充実した取り組みがなされていると思われる。
- (7)「交流及び共同学習」の取り組みではほぼ目的が達成されている評価だが、小学部と高等部の「居住地での交流」では「あまり達成できていない」との評価がある。
- (8)本校は伝統的に環境緑化に力を入れて取り組んで来た経緯があり肯定的な評価である。しかしながら、自己評価の記述欄に「環境美化に関する全校作業が激減している。」との記入がある。
- (9)寄宿舎に関する評価はほぼ全項目で肯定的な評価である。特に「基本的生活習慣を育む指導」「安全点検の徹底」「舎務主任との連携」の評価が高い。
- (10)「児童生徒アンケート」では本校は明るく楽しい雰囲気があり、「授業は分かりやすい」と感じている。また、「学校行事」も楽しみにしている。教師に対しては「丁寧に教えてくれ、教え方をいろいろと工夫してくれている」と感じている。中・高等部生の中には、気軽に相談できる先生がいると答えている一方、高等部生徒の中に10名は「そう思わない」と答えている。また、高等部生徒に項目によっては低い評価があり、「学校ではいじめやけんかがない」に対して11名、「学校での先生や友達の言葉使いがていねいである」に対して9名が「そう思わない」を答えている。
- (11)「保護者」もおおむね肯定的な評価が多い。記述欄には「とても先生方には感謝しています。特別支援教育のため、先生や保護者の距離が近くて話しやすく相談もしやすいです。保護者同士も良い関係性が築けるのでPTA活動も積極的に出来ると思います」「1年を通して行事も多く、また学部ごとの活動や全校生徒合同の活動もあり、いろいろな年代の子ども同士で触れ合えることがとても良いと感じています。先生方は個々の特性をよく見てくださり、タイミングを逃さず、必要な時に必要なアプローチをしてくれていると思います。来年度、子ども達がどのように成長していくかとても楽しみです」「問題行動があったとき、また何か不安や疑問点があったとき、いつも丁寧に適切に対応していただき本当に感謝しています。これから将来の進路を考えながら将来役立つスキルを身につけていけるようお願いします」とある。昨年度まで「PTA活動」について一部低い評価が見られたが「八特メールの活用」や「PTA組織の改善や夕涼み会への保護者の参加工夫」等でPTA活動への理解がなされたと思われる。しかし、高等部保護者の一部に「学習成果の評価」「保護者の学校への協力」「保護者の相談等への対応」「職員と保護者の協力関係」で、一部低い評価がある。

2 課題及び改善策について ※否定的な意見が全体として2割を超えた事に関して取り上げる

課題 (否定的評価の合計)	対応、意見、改善策
自己評価(内部評価)より	
○指導の充実 ・情報機器を活用した指導を行う (22.5%)	(情報視聴覚部) 夏季休業中に情報実践研修を行います。そこでは、スイッチ自作教材、アプリの活用をテーマに行っていく予定です。現場ですぐに使用して活用出来るような実践的な内容にしていくつもりですので是非参加して下さい。
○交流及び共同学習 ・保護者と共通理解が図られ、居住地での交流が立てられ適切に取り組んでいる。 (25.2%)	(小学部 交流担当) ・小学部では居住地交流は保護者の希望をとり実施している。今年度は、昨年度より人数も増えている。(前年度2名→今年度6名)

<p>○環境美化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化に関する全校作業が激減しているのが残念。縦割りグルーピングでの作業は本校ならではのとても良い取り組みだと思うので続けていきたい。 	<p>(環境整備部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H22年度から調べてみると、環境の全作の時数は6～8時間と多少の変動で激減ではないと係としては考えています。係としても本校の独自の取り組みなので続ける方向で話し合い、今回は「ひまわりの定植」を設定しました。今後も、縦割りのグループで取り組んでいけるように計画したいと思います。
<p>○児童生徒アンケートから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習をもっと増やしてほしい。 	<p>(中学部主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会における具体的な体験の中で生活単元学習を始め様々な学習が行えるように、昨年度より校外学習を増やしてきた。生徒よりもっと増やしてほしいという意見が出た事は、生徒にとって分かりやすい楽しい学習であったと判断できる。来年度は作業学習等でも、校外における販売学習等が出来る様に教育課程を工夫していく予定です。
<ul style="list-style-type: none"> ・給食に毎日デザートを出してほしい。 ・くだものをいっぱい出して下さい。 ・給食をもっと食べたいです。 	<p>(保健・給食部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業面・予算面、栄養バランスを全体的に考えて、メニューを組んでいます。リクエスト給食を活用してほしいです。食べたい果物の希望をしてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと気軽に教室などでインターネットを使えるようにしてほしい。 	<p>(情報視聴覚部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業でも十分インターネットを活用しています。気軽に使えすぎると逆に不正アクセス等も生じるので調整をして現状となります。今後さらに必要性が増せば検討していきたいと思います。
<p>(高等部生徒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ではいじめやけんかがない。(46%) ・学校での先生や友達の言葉遣いがていねいである。(37.5%) ・気軽に相談できる先生がいる。(41.7%) 	<p>(生活・安全部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめやけんかについて 学校でのいじめはないが、けんかについて生徒間の人間関係のもつれが原因でけんかが起こることがある。高等部では現在授業で男女交際や人間関係についての学習を全体で行っている。また担任も生徒の問題が起こる度に個別の指導を実施している。学部職朝においても生徒の問題等があれば全体に共通理解を図っている。よって今後も継続して指導を行っていききたい。 ・言葉遣いについて 高等部全体での一斉指導は行ってはいないが、各クラスで言葉に関する指導を行っている。今後も継続して指導を行っていききたい。 ・相談できる先生について 次年度からは年度初めに高等部集会等で、教育相談担当の職員の紹介を行い、担任以外に相談できる状況を生徒に知らせる。
<p>○保護者アンケートから (高等部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は学習において生徒の学習成果を適切に評価している。(21.4%) ・学校は、家庭や地域と連携しあって教育を進めている。(21.4%) 	<p>(高等部主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果に関して職員は適切に評価を行っています。ただそのことが学校側から保護者にしっかりと伝わっていないと思われまます。今後は家庭とさらに連携を取っていきます。 ・家庭へは、連絡帳や学級通信や進路だより等を通して、学校の様子を伝え連携を図っています。また学期末には学級懇談会を実施しています。今後もこのような取り組みを継続し家庭と連携していきます。地域に対しては、今回、宮良公民館での販売学習を行っています。これも次年度以降も実施してい

	く予定です。
・学習面をもっと増やしてほしい。（記述）	（高等部主事） ・石垣島祭りや宮良公民館での販売学習のために事前学習、事後学習を行いました。それは学習の一環として行っているため、学習の機会が減っているわけではありません。また、各教科担当や担任等で生徒の実態に応じて宿題を持たせたり、各種検定に向けての課題に取り組んだりしています。学級面談等で保護者より要望があれば必要に応じて対応していきます。
・保護者は、学校に協力的である。 （28.6%）	（教頭） ・高等部の一部の保護者からこのような評価がなされている。高等部からの入学生が徐々に増える傾向があり、まだ慣れない保護者にとっては、学校活動全般についての理解に少々時間を要することがあると思われる。しかしながら、内部評価等を含めて全体的には、PTA組織の改善や夕涼み会の取組等から保護者の参加が増え、活動が活性化しているとの評価が出ている。今年度の取組に、反省点を踏まえながら、今後も保護者の積極的な学校活動への協力を促して行きたい。
・学校は生徒や保護者の相談等に適切に対応している。（21.4%）	（高等部主事） ・生徒に対しても保護者に対しても真摯に対応しています。今後もこの姿勢を全職員で確認し合っていきます。

※ 職員会議後に、以下の要領で学校評価の開示を行います。

- ・学校のホームページへ掲載します。
- ・保護者へは、公文として配布します。
- ・児童・生徒へは、学部主事を中心に、評価内容を知らせて下さい。
- ・3月実施の学校評価委員会（学校評議員）に評価内容を提示し意見を伺います。